

生徒指導通信

新潟県立三条東高等学校
生徒指導部
令和2年6月24日 No.3

○「6月は〇〇の季節」・・・

尾木ママこと教育評論家の尾木直樹氏は「6月はいじめの季節」としてブログで公開されています。また、統計から6～7月、10～11月にはいじめの発生件数が多いそうです。本年度は例年とは違った新学期のスタートでしたが、長期休業が終わり徐々に慣れたこの時期に増加する傾向にあるのだそうです。

皆さんは「ピンクシャツデー」という運動を知っていますか？このことについて紹介したいと思います。



舞台は2007年、カナダ・ノバスコシア州のハイスクールです。9年生（中学3年生）の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、ホモセクシャルだからかわれ暴行を受け、たえきれずに帰宅してしまいました。その出来事を聞いた上級生のデイヴィッド氏とトラヴィス氏。12年生（高校3年生）の彼らにとっては、その学校で過ごす最後の年でした。

「いじめなんて、もう、うんざりだ!」「アクションを起こそう!」

そう思ったふたりは、その日の放課後、ディスカウントストアへ行き75枚のピンク色のシャツやタンクトップを買いこみました。そしてその夜、学校のBBS掲示板やメール等を通じてクラスメートたちに呼びかけました。「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と。

翌朝、ふたりはピンク色のシャツやタンクトップを入れたビニール袋を手に登校しました。学校について校門で配りはじめようとしたふたりの目に映った光景・・・それはピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してくる姿でした。ピンクシャツが用意できなかった生徒たちは、リストバンドやリボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。頭から爪先まで、全身にピンク色をまとった生徒もいました。ふたりの意思は一夜のうちに広まっていたのです。

ふたりが呼びかけた人数より遥か多く、数百人もの生徒たちがピンクシャツやピンク色のものを身につけて登校してきたことで、その日、学校中がピンク色に染まりました。いじめられた生徒は、ピンク色を身につけた生徒たちであふれる学校の様子を見て、肩の荷がおりたような安堵の表情を浮かべていたそうです。以来、その学校でいじめを聞くことはなくなりました。

いじめに対して、学生たちは言葉や暴力ではなく行動で意思表示をしようと立ち上がったのでした。

カナダの学生たちが起こした行動が地元メディアで取り上げられると、瞬く間にカナダ全土へと広がり、アメリカのトークショーやスペイン最大の新聞でも紹介されるなどして、世界へと広がっていきました。メディアで彼らのことが紹介された翌日には、アメリカ、イギリス、ノルウェー、スイスから彼らの元へ多数の賞賛や感謝を伝えるメールが届いたといい、大きな反響が伺えます。この行動がきっかけとなり、現在、カナダでは毎年2月最終水曜をピンクシャツデーとし、この日、学校・企業・個人を含めた賛同者がピンクシャツを着て「いじめ反対」のメッセージを送っています。

いじめはどんなきっかけで、いつ、どこで起こりうるかわからないものです。ネット上など表面的にはわからないものや加害側・被害側のはっきりわからないものも含め、「誰かが苦痛を感じる行為を受けた」となれば、「いじめ」として認知されます。いかなる立場であっても見逃すことはできないこととして「ピンクシャツデー」の意識を普段から持って生活していきましょう！

(公式HP<https://pink-shirt-day.com/benefit/>)



○リュックサックでの登下校時の注意

本校の生徒の様子から通学用に「リュックサック」タイプの鞆を利用している生徒が多いようです。両手が使えることと、重い荷物も背負うことで楽に移動でき、自転車通学の生徒もカゴに入れなくても良いので便利です。

ただ、良い点ばかりではなく、利用するには次に挙げるような注意も必要ですので、確認をしておきましょう。

全国の私鉄73社が加盟する日本民営鉄道協会が毎年調査している「駅と電車内の迷惑行為ランキング」で2018年度、「荷物の持ち方・置き方」が初めてトップになりました。

「リュックは体積が大きい上に、背負っていると気づかない間に人にぶつかりやすく、特に迷惑に感じる人が多いようだ。乗客どうしのトラブルの引き金になり、遅延にもつながる」と協会関係者は話しており、鉄道各社は、リュックは前に抱えたり網棚に上げたりするよう、ポスターや車内放送などで呼びかけている。JR東日本では「他の人が背負ったリュックにぶつかった」「乗降の妨げになっている」等の声も多数あるようです。

電車通学のみならず、自分の行動が迷惑な状況につながっていないか確認してみましょう。



○熱中症と服装の関係から



今月になり、梅雨特有の暑さだったり、日差しが強くその日の最高気温が30度を超え、いよいよ夏に向かってという季節になってきています。今月下旬から各教室のエアコンが使用できる予定ですが、今年の夏は特に新型コロナウイルス感染拡大の懸念からマスクの着用と各教室の密閉を避けるための手段として窓を開けた状態にすることを考えた熱中症に配慮した生活行動(様式)が求められます。

さて、本校の夏用制服では「開襟シャツ」の着用が認められています。女子生徒についてはリボンをする必要もなく、また男女ともに準指定の開襟シャツとして胸元に本校の校章が入っているものも紹介させてもらっています。この開襟シャツは夏用の涼しい素材が使用されており、裾もスボンやスカートの中にいれなくてもよいデザインになっています。適宜活用し正しい服装で健康管理に注意していきましょう!

また、制服に取り付けるバッジにはピンで留めるものを使用しています(準指定開襟シャツの場合は不要)が、シャツの洗濯の際に毎日取り外したり、登下校のリュックが引っかかったりする等の理由から紛失してしまうケースが多く見られます。前号でも紹介したアイロンで着けるフロッキータイプの物は100円で購入できるので、そちらも活用してください。



○駐輪場の利用について



交通マナー同様、本校及び東三条駅周辺の駐輪場の利用についても正しくマナーを守って利用し、必ず施錠するようにしましょう。(駅周辺ではダブルロックを心がける)

本校の駐輪場では「止め方が悪い」「整備不良」「未施錠」等が見られる場合、チェーンで施錠し指導を促しています。また、三条警察署管内では特に自転車窃盗が多く発生しているという情報も出ており、駅周辺の駐輪場で鍵をかけ忘れて、自転車がなくなってしまうという話を聞きます。習慣として施錠するよう心がけてください。

新潟県立三条東高等学校 生徒指導部 係：坂爪

TEL 0256(38)6461



学校ホームページ QRコード

以前の生徒指導通信も掲載されています